

コミュニティ

SOCIAL

地域に向き合い、地域とともに成長する

▶方針・考え方

●地域社会への当社グループ事業の理解促進と共創による事業展開

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、地域経済や地域コミュニティの活性化に努めてまいりました。

今後とも、地域との対話等を通じ、幅広い事業活動の理解促進を図り、地域社会との関係強化に努めるとともに、産・官・学の多様なパートナーと連携しながら、地域のポテンシャルと自らの強みを活かして事業を展開し、地域とともに成長してまいります。

▶体制

関西電力(株)

担当役員：奥戸 義昌(執行役常務)

地域対応統括組織：総務室 地域戦略グループ

各地域における対外対応拠点：支社 支社長(拠点責任者)、コミュニケーション統括グループ

関西電力送配電(株)

担当役員：井上 秀之(執行役員)

地域対応統括組織：地域コミュニケーション部 地域コミュニケーショングループ

各地域における対外対応拠点：エリア本部 本部長(拠点責任者)、統括グループ

▶目標

地域社会との信頼関係構築を通じた共創の推進

▶取り組み

●地域社会とのコミュニケーション・連携の強化

関西電力グループは、これまでから、エネルギー情勢や当社グループ事業全般について自治体等と双方向のコミュニケーションを重ねています。具体的には、当社グループ施設の見学会や勉強会等を開催することで当社グループ事業への理解情勢に努めています。また、近年、台風等自然災害の被害が甚大化していることを受け、災害時の各自自治体との連携体制も強化しています。自治体をはじめとする地域のみならず、さまざまな関係者から頂戴したご意見やご要望は、経営層をはじめ関係部門や現場第一線とも共有を図り、より良い事業運営に役立ててまいります。



自治体等との勉強会



自治体等の合同訓練

●関連データ

	2023年度	2024年度	2025年度
自治体へのご理解促進活動	約8,400回	約9,900回	約9,800回

地域の課題解決や価値向上を目指す“まちづくり”の推進

▶方針・考え方

●地域の活性化に向けた取組み

お客さまや社会のみなさまからのエネルギー領域にとどまらない多様なニーズにしっかりと耳を傾け、「共に考え、共に未来を創る」という想いのもと、地域活性化と持続的発展に向けた取組みを進めています。

●当社ソリューションによる地域活性化への貢献

当社グループは、幅広い知見やソリューションを活用し、地域の課題解決や新たな価値の創出に取り組んでいます。具体的には、グラングリーン大阪における最先端の技術導入による低炭素まちづくりや、スマートエコタウン星田でのエリアマネジメントサポートサービスなどを実施してきました。今後も自治体をはじめとする地域のみなさまと連携し、持続可能で魅力あるまちづくりに貢献していきます。

▶体制

関西電力(株)：ソリューション本部

▶目標

当社ソリューションによる持続可能で魅力的なまちづくりの実現

▶取組み

◆グラングリーン大阪における最先端の技術導入による低炭素まちづくり実現への貢献

JR大阪駅北側の梅田貨物駅跡地のうめきた地区のうち、「グラングリーン大阪(2期区域の約9ha、2024年9月先行まちびらき)」では、関電エネルギーソリューションのユーティリティサービス^{※1}を2024年5月からご採用いただいています。対象には、国家戦略特区制度を活用^{※1}した全国初の帯水層蓄熱や、大阪市内で初^{※2}の民間事業者による下水熱、地中熱利用など、最先端の環境技術・資源循環インフラを活用した先導的な省CO₂技術を含み、CO₂排出量削減に貢献しています。地域冷暖房やコジェネレーションの事業者等と連携し、エリアエネルギーマネジメントの一翼を担います。

グラングリーン大阪の開発計画段階において、国の補助事業を活用した、まちづくりにおけるエネルギー利活用モデルの構築検討に当社が係わり、まちづくり方針に反映されています。さらに、開発段階において、関電不動産開発は、開発事業者JVとして参画し、関西電力グループが国の補助事業を活用したエリアエネルギーマネジメントの取組みの実現に向けたサポートを行いました。

関西電力グループは、今後もグループの総合力を発揮し、ゼロカーボン社会の実現や持続可能なまちづくりの実現に取り組んでまいります。

※1 国家戦略特区による規制緩和として建築物用地下水の採取に係る特例を適用。

※2 2018年に施行された大阪市下水道条例及び規則等の改正後。

◆次代の移動サービス実現に向けて大阪府豊中市でEVバスによる自動運転実証

当社は、豊中市、損害保険ジャパン株式会社、阪急電鉄株式会社と協力して、2025年3月26日から3月28日の3日間、豊中市で初めてとなるEVバスによる「自動運転レベル2^{※1}」の実証(以下、本実証)を実施しました。

本実証では、運転手不足という地域課題の解決や、運輸部門のゼロカーボン化を見据え、自動運転対応の小型EVバスにて、豊中市新千里東町を走行するとともに、EV向けワイヤレス給電の社会実装に向けた調査を合わせて実施しました。

本実証で得られた知見や、試乗いただいた方々のご意見などの成果を活かし、引き続き官民協働により、EV自動運転およびワイヤレス給電の社会実装を目指していきます。

※1 自動運転レベル2…ハンドル、アクセル、ブレーキの操作を部分的に支援した自動運転



2025年3月26日 豊中市EVバス自動運転実証 出発式風景

●スマートエコタウン星田でエリアマネジメントサポートサービスを提供

関電不動産開発が手掛けるスマートエコタウン星田において、地域住民や地域事業者が主体となり、地域の価値を持続的に高めるエリアマネジメント活動をサポートしています。

具体的には、防犯防災に寄与する取組みとして、非常時は蓄電池としても活用できるEVカーシェアやみまもりカメラを計画・設置いたしました。また、地域の防犯情報を発信できるポータルの運営も行っております。その他、有事の際に地域の方向士で助け合えるように、日頃からのつながりを生み出すためのイベント企画・運営支援等も実施しています。

加えて、同エリアおよびその周辺の複数スーパーにおいて、買物支援・地域の利便性向上を目的としたラストワンマイル配送サービス(りんくるさん)の実証を2023年から実施。サービスが地域に根付いた2026年2月から、グループ会社である関電サービス株式会社に運営主体を変更し、より地域に密着した持続的なサービスとして提供しております。

地域のポテンシャルと自らの強みを活かして事業を展開し、私たちがサービスを提供する地域とともに成長していきます。



●地域マイクログリッド事業への事業運営サポート

地域マイクログリッドは、地震や台風などの災害による停電時において、限られた地域コミュニティ内で再生可能エネルギー（太陽光発電など）を活用し、蓄電池などで電力量を調整することで、既存の配電線を通じて電力を供給するシステムです。この仕組みにより、地域全体でエネルギーの地産地消を実現し、レジリエンスの向上を目指します。当社は、2023年度に豊岡市の中核工業団地内で地域マイクログリッドの構築サポート実績があり、これからも地域マイクログリッドをはじめとするさまざまなニーズに対応できる取組みを進めてまいります。

●黒部特定送配電事業

当社は、黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放・旅行商品化に合わせて、富山県や大手携帯キャリアと連携し、2023年から携帯電話基地局向け電力供給を開始しました。これにより携帯電話不感地域(サービスエリア外)であった黒部奥山で携帯電話の使用が可能となり、観光客の利便性向上や登山客の安全・安心確保に加え、災害発生時等の連絡確保に貢献できると考えております。なお、本事業の実施に当たり、当社は2023年に旧一般電気事業者初の「登録特定送配電事業者」として登録しています。

●関連データ

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
構想が実現したサステナブルコミュニティの累計件数*	15件	17件	17件	17件

※ 当社のみの数値

地域や社会との共生

▶方針・考え方

●地域や社会の課題解決や活性化に向けた社会貢献活動

当社グループは、「関西電力グループ行動憲章」において、地域や生活に密着した事業者として、さまざまなステークホルダーと連携しながら、地域経済や地域コミュニティの活性化に向け、地域社会の課題解決に積極的に取り組む旨を記載し、当社グループの事業活動などを通じて社会貢献活動を実施してきました。

近年、人口減少や環境問題をはじめとした社会課題が先鋭化、鮮明化する中、企業市民としての活動も含めた社会貢献活動をこれまで以上に積極的に展開していくため、2024年6月、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を制定しました。

当社グループは、保有する経営資源を活用し、事業活動ならびに良き企業市民としての活動を通じて、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組みます。また、従業員一人ひとりの社会貢献活動への積極的な参加を支援していきます。

◆関西電力グループ社会貢献活動方針

地域や社会の『力』になりたい

関西電力グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」を以下のように定め、この基本方針に沿って、事業活動を通じて地域や社会の期待に応えるとともに、良き企業市民として、様々な活動を行っていきます。

- (1) 関西電力グループは、地域や社会の持続的な発展のために、様々なステークホルダーと連携し、地域や社会の課題解決や活性化に積極的に取り組みます。
- (2) 関西電力グループは、地域や社会のみなさまとの対話を大切にし、保有する経営資源を活用した取り組みを行います。
- (3) 関西電力グループは、従業員一人ひとりの自発的な活動を尊重し、社会貢献活動への積極的な参加を支援します。

【重点分野】 環境保全、地域活性化、次世代層育成

▶体制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか

▶目標

地域・コミュニティとの共生に向けた積極的な貢献

▶取り組み

当社グループは、「関西電力グループ社会貢献活動方針」に掲げた重点分野を中心に、地域や社会の課題解決や活性化に取り組んでいます。

●環境保全

山林保全や植樹活動に加えて、当社グループのノウハウを活かした清掃活動や、発電所周辺の生態系保全、地域のみなさまと連携した美化活動などに取り組んでいます。



アマモの保全活動



事業所周辺清掃



木曽川でのアマゴ放流

◆CIELIA TREE PROJECT（関電不動産開発(株)）

関電不動産開発(株)では、分譲マンション「シエリア」または分譲戸建て住宅「シエリアガーデン」のご契約1件につき1本の苗木を植える取組み「シエリアツリープロジェクト」において、2024年10月から2025年5月までの期間において認定NPO法人環境リレーションズ研究所が運営する「Present Tree」を通じて累計651本分の苗木を寄付しました。2025年6月以降は関電不動産開発(株)が長野県大町市に所有する「関電不動産開発 くろよんの森」に植樹先を変更し、「シエリアツリープロジェクト」として659本の植樹を実施しました。

CIELIA TREE PROJECT
シエリアツリープロジェクト

●地域活性化

地域に根差した伝統文化や芸術、スポーツ支援をはじめ、地域への貢献・活性化の取組みを地域のみなさまとともに進めています。



祇園祭山鉦の配電検査



高所作業車を活用した文化財や街路灯等の清掃・点検



びわ湖マラソンボランティアへの参加



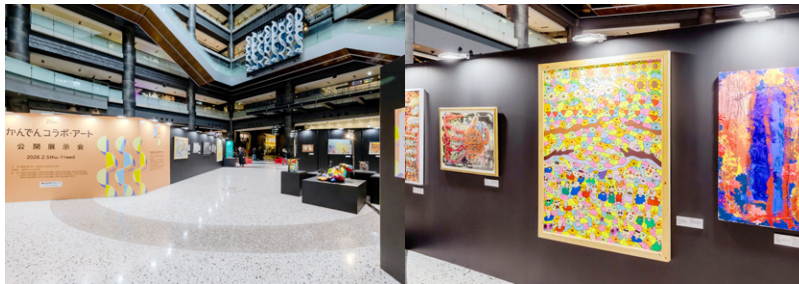
大阪クラシック2025への協力



関西電力ボート部

◆かんでんコラボ・アート

障がいのある方々にアートの創造を通じて自己を表現する喜びを感じていただくとともに、作品をご覧いただく方々にその魅力や作者の可能性を感じていただくことを目的に、2001年から障がい者アートの公募展「かんでんコラボ・アート」を開催しています。受賞作品などは公開展示会やホームページを通じて紹介しています。また、2025年度には25周年を記念して、展示会を実施しました。



公開展示会(グランフロント大阪)



25周年記念作品展示会(関電ビルディング)

◆世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の維持・修復活動

奥深い歴史と豊かな自然を併せ持つ世界遺産・熊野古道。和歌山県と共同でこの参詣道の維持・修復活動「道普請」を実施しています。関西に根付いた企業として1千年以上受け継がれてきた貴重な資産を良好な状態で保全し、次世代に受け継ぐ活動に取り組んでいます。



道普請の様子

●次世代層育成

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について幅広い層の方々に共に考えていただく機会を創出するため、説明会や小・中学生向け授業、職業体験の機会提供などを実施しています。



Minecraftカップのゴールドパートナーとして協力



ワークショップの様子



エネルギー教室



地域イベントへの当社ブース出展

◆地域新価値共創プロジェクト～ WACCA2040 ～

産官学が連携して、和歌山県の地域活性化等に資する人材創出のため、「地域新価値共創プロジェクト～ WACCA2040 ～」を実施。本プロジェクトを通じた次世代の地域の担い手創出により、和歌山県が抱える地域課題の解決、ひいては地域の発展に貢献します。



WACCA2040の協定式

◆キッズニアスポンサーデーイベント(関西電力送配電(株))

関西電力送配電(株)は、未来を担う子どもたちが将来の仕事について考えるきっかけづくりとして、キッズニア甲子園に「送配電会社」パビリオンを出展しています。パビリオンでは、高所作業車に乗り、停電からの復旧作業を模擬体験することで、電気を安全・安定的にお届けし、人々の暮らしを支える仕事の大切さややりがいを感じてもらうことを目指しています。2026年2月には、特別イベントを開催し、子どもたちに通常のキッズニア体験に加え、当社主催のクイズラリーや当社キャラクター「おくりん」との写真撮影にご参加いただきました。



キッズニア甲子園(関西電力送配電(株))

●社会貢献活動に励む従業員を支援

従業員の自発的な活動を支援するため、ボランティア休暇制度などを設けています。また、社内ポータルサイトにある「社会貢献活動サイト」では、ボランティア情報や各事業所での活動事例などを発信しています。

●事業活動を通じた社会貢献の取組み

社会課題の解決に資するため、銀行サービスや社会貢献活動促進サービスなど、地域や社会のみなさまの行動のきっかけとなる取組みを展開しています。



「預けるだけで、サステナブル。」な銀行サービス CQ BANK



「はぴeポイント」で地域・社会を応援

◆社会貢献活動促進サービス「モアクト」

ゼロカーボンをはじめさまざまな社会課題の解決に取り組む企業・団体や自治体などと生活者を結び、生活者の社会貢献への意識や行動変容を促すサービス「モアクト」の実証を2024年11月に開始しました。2025年8月には新規申込の受付を再開し、2026年7月1日には株式会社モアクトを設立し、事業を開始しました。このサービスはスマートフォンなどで利用可能なアプリ「モアクト」上で、社会課題の解決につながる幅広いジャンルの“ミッション”（＝社会貢献につながる行動）を提供することで、行動変容を目指すものです。本サービスを通じて社会課題の解決につながる“ミッション”を提供する企業・自治体は40社を超え、約17万人が登録しています。（2026年8月末時点）



モアクトのサービス概要

社会課題に関連する「ミッション」をクリアしてお得なポイントをゲット。

<ソーシャルグッドなアクションアプリ>

「トクつむ。トクする。」

徳

得



モアクトのイメージ

社内外との積極的なコミュニケーション

▶方針・考え方

●広報活動を通じた社内外とのコミュニケーション

広報活動を通して、ステークホルダーのみなさまに適切に情報発信を行い、当社グループ事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させるという双方向のコミュニケーションを心がけ、信頼を賜ることができるよう努めています。

また、このような活動を通じて、当社グループ事業への理解獲得を図るとともに、ブランドステートメント「power with heart」に込めた“まごころと熱意を込めたサービスで、お客さまや社会の『力』になりたい”という想いのもと、透明性の高い開かれた事業活動を展開していきます。

▶体制

関西電力(株)：広報室

関西電力送配電(株)：地域コミュニケーション部 ほか

▶目標

全てのステークホルダーからの理解・共感・信頼の獲得

▶取り組み

●ステークホルダーへの情報開示の充実

当社グループは株主をはじめとするステークホルダーのみなさまに向けて、有価証券報告書やコーポレート・ガバナンス報告書、統合報告書等にて会社の財政状態・経営成績等の財務情報や、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る非財務情報等について、積極的に開示を行っています。その際、会社法等の法令で定められる内容のみならず、株主をはじめとするステークホルダーのみなさまとの対話に有用と考えられる情報については、正確かつ具体的な内容で開示する等、付加価値の高い説明となるよう努めています。また海外投資家に向けての情報提供として必要に応じて英語版の媒体を作成しています。

当社グループは、株主・投資家との建設的な対話を促進し、法令遵守をはじめとする当社の基本姿勢や経営計画等をはじめとする経営の基本方針についてのご理解を得るとともに、いただいた建設的な意見を経営に反映することで、株主・投資家のみなさまと長期にわたり確固たる信頼関係を築いていきます。

●報道機関への対応

報道機関が報じる情報は、お客さまの当社グループに対するご理解やイメージに大きく影響することから、適時適切な情報発信が必要となります。そのため、社長会見をはじめとした、報道機関への情報発信を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ的確に対応することで、当社グループ事業への理解促進を図っています。また、会見のWeb配信を実施するなど、情報発信方法の多様化にも取り組んでいます。

●メディアを活用した情報発信

ブランドステートメント「power with heart」に込めた想いのもとで取り組む、当社グループの事業活動に関する情報をお客さまや社会のみなさまにわかりやすくお伝えするため、さまざまなメディアを活用しています。

テレビCMや新聞広告、Web広告、そしてホームページやSNS、広報誌などのツールを用いてより多くのお客さまとのコミュニケーションを活性化させることで、当社グループ事業への理解・信頼獲得を図っています。

◆テレビCM・新聞広告・Web広告による情報発信

映像や音楽で分かりやすく情報をお伝えできるテレビCMやWeb広告、比較的多くの情報をじっくりとご覧いただける新聞広告など、それぞれの媒体が持つ特性を生かして、当社グループの取組みを発信しています。



当社テレビCM

◆ホームページによる情報発信

エネルギーの安全・安定供給やサステナビリティの取組み、IR、採用活動、プレスリリースなどの企業活動に関する情報を掲載しています。お客さまにとってより見やすく分かりやすいホームページを目指し、トレンドに沿ったレイアウトへの見直しなど、視聴者目線を徹底し、継続的な工夫・改善を図っています。



当社ホームページ

◆オウンドメディア「かんでんWITH YOU」による情報発信

『日々を楽しむ情報をシェアするお役立ちメディア』をコンセプトに、関西エリアのトレンドや暮らしに役立つ情報を発信しています。暮らしの中の身近な疑問や関心ごとに対して、ナビゲーターが読者と同じ目線で情報を紹介しながら、一緒に答えを探していく構成としています。合わせて、当社事業やサービスに関連するテーマも取り上げることで、当社への親近感の醸成や事業活動への理解促進を図っています。



かんでん WITH YOU



かんでん WITH YOU

◆SNSによる情報発信

当社グループの事業活動に共感していただくことをめざし、ソーシャルメディアを活用しています。

X・Facebookでは、リアルタイム性やトレンドを意識した投稿や従業員にフォーカスを当てた投稿を実施。加えて、Xでは非常時のコミュニケーションツールとして、災害などの発生時に迅速に情報を発信しています。

Instagram・TikTokでは、暮らしに役立つ情報をテーマとし、節約術やライフハック術などを発信。身近で親しみやすいアカウントを目指し、トークンや映像・デザイン面にも工夫を取り入れています。

公式X・Facebook



公式Instagram・TikTok

◆Web動画の公開による情報発信

経営理念『あたりまえ』を守り、創る』に込めた想いはじめ、当社グループの事業活動や社会貢献活動について理解を深めていただけるよう、Web動画を公開しています。



Web限定動画



社会貢献動画

◆広報誌「YOU'S」による情報発信

当社グループの事業活動についての理解を深めていただくことを目指し、Webメディア「YOU'S」を発行しています。お客さまや社会のみなさまの関心事をテーマとして取り上げながら、当社グループとみなさまを繋ぎ、面白くて役立つ情報をお届けしています。なお、「YOU'S」は2026年8月をもって冊子での発行を終了し、以降は当社ホームページ内の「YOU'S」専用ページを通じて情報を発信してまいります。

YOU'S



●エネルギーに関する理解活動

エネルギーミックスやゼロカーボンの重要性について、幅広い層の方々に共に考えていただく機会を創出するため、説明会や小・中学生向け授業などを実施しています。実施にあたっては、VRを用いた発電所見学体験を取り入れるなど、より直感的かつ分かりやすく学べるよう工夫しています。また、パソコンやスマートフォンなどから参加できる「オンライン見学会」も活用し、発電所内部の見学や所員とのコミュニケーションなどを通じて、現地見学に近い体験機会を提供しています。さらに、2024年度からは、中学校・高等学校の授業時間内で、エネルギーについて学ぶ探究型プログラム『「未来」に向けたエネルギー探究学習』にも取り組んでいます。

2025年度には、大阪・関西万博会場において、SDGsの観点からエネルギーの未来について考えていただく体験型イベントを実施しました。



大阪・関西万博での体験型イベント

●インターナルコミュニケーションの活性化

経営理念や中期経営計画の取組みをはじめとした経営上の重要事項や、当社グループの事業に関する情報、各職場や従業員の取組みなどを、社内ポータルサイトなどを通じて、適時当社グループ内へ情報発信しています。



経営層からのメッセージ

また、従業員のエンゲージメント向上を目的に、経営層と従業員、従業員間の双方向コミュニケーションを深める取組みを実施しています。経営層と従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイトおよびグループポータルサイト上に、経営層からのメッセージを掲載し、従業員が自由にコメントできるようにしています。従業員間のコミュニケーションにおいては、社内ポータルサイト上に、従業員が気軽にニックネームで投稿できる掲示板「みんなdeトーク」を設置し、ワークライフバランスのコツや、業務に活用できる便利なアイデアなど、さまざまなテーマで自由闊達に意見交流ができるようにしています。

●社会のみなさまの声を事業活動に反映

当社グループは、ステークホルダーのみなさまからの声に耳を傾け、頂戴したご意見やご要望について、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、信頼を賜ることができるよう努めています。

●関連データ

	2023年度	2024年度	2025年度
ボランティア休暇取得	50件(61日)	80件(149日)	138件(264日)
社会貢献活動回数(エネルギー教室含む)	1,517回	1,224回	1,269回
社会貢献活動額 ^{※1}	2,027百万円	2,791百万円	2,448百万円
うち寄付金額	171百万円	296百万円	165百万円
うち福井県・立地町における新たな地域振興の仕組みによる寄付実績額 ^{※2}	—	—	74百万円

※1 2020年度実績より事業活動を通じた社会貢献活動額も一部計上

※2 2025年度の信託銀行への拠出額は20,777百万円